



飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

“人類に奉仕するロータリー”

RI会長 ジョン・ジャーム

2570地区ガバナー 前嶋修身

第3グループ
ガバナー補佐 野本俊光

「知恵と元気を」

第2752例会 2017. 5. 17

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

天候 曇 (NO. 53-46)

会長 小川晃男 幹事 矢島高明

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 細田(伴)君、橋本君

- ・点鐘 小川会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓話 近藤隆彦様

【会長報告】

先週土日、お城がテーマの親睦旅行は雨にも降られず良い旅行でした。親睦委員の皆様有難うございました。多くの方からご芳志を頂戴、重ねて御礼申し上げます。お蔭でたっぷり飲ませて頂き、矢島幹事は二日酔いで少しヨタヨタしていた時がありましたが、帰った時には皆さんお元気で何よりだったと思っております。

齋藤パスト会長がリハビリ中で、お見舞いに明日伺おうと思っています。

RCの標語「超我的奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」。1つはA. F. シェルドンの提唱。He Profits Most Who Serves Best. 女性会員の事と関連するかと思いますが、04年の規定審議会で「性を規定するHeを使うな」という意見が出てThey Profit Most Who Serve Best. に変わりました。しかし、元々RCは「I serve」の理念での奉仕、「They」ではどうなのかというので10年の規定審議会でOne Profits Most Who Serves Best. に決まりました。1910年に原文を創ったシェルドンに失礼だという意見もありHe Profitsの文章もどこかに残されているそうです。

【幹事報告】

良い旅行を企画して頂き、参加者の皆様には会を盛り上げて頂き有難うございました。ご芳志にも感謝。盃を交わす事、風呂での裸の付き合い、まさしく親睦を深める旅でした。部屋で多くを語り合う事も出来ました。来年も楽しい旅行が出来たら良いなと感じた一人です。

藤原国際奉仕委員長より5/26ヘリテージでの座談会、出欠をお知らせ下さいとの事です。

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 前島君

皆様のご協力で楽しい親睦旅行が出来ました。ご参加の方に領収書を配付しました。

◎親睦旅行の写真について 中里(昌)君

大崎会員にお願いし、約300枚の写真が撮れました。メールを頂ければ添付して返信します。

◎雑誌委員会 吉田(行)君

『友』5月号。横組、RI会長メッセージ、財団100周年関連、寄付金の流れ等。縦組P4、私は67ですが、山形出身の方は素晴らしい人が多く嫌な人に会った事がない。原因は「上杉鷹山の訓え」が県民の中に入っているからではないか。「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」「してみせて 言ってきかせて させてみる」。米沢藩のお殿様は、山本五十六元帥も参考にした家訓を創った方で、J. F. ケネディの尊敬する日本人の一人。是非熟読を。

【出席報告】無届欠席0 奥富出席向上委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
58名	6名	56名	96.55%	96.55%

【M U】

5/13 (地区) 木川君、土屋(良)君

【結婚・誕生日祝】

大崎親睦活動委員

◎入会記念日おめでとう
吉田(健)君、吉田(武)君、奥富君

◎結婚記念日おめでとう
福島君、加藤君、町田君、土屋(良)君、大崎君

◎会員誕生日おめでとう
13 田中君、18 服部君、吉田(行)君、25 齋藤君

◎夫人誕生日おめでとう
8 藤原夫人、18 土屋(崇)夫人

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・近藤理事長ようこそ。今日はよろしくお願ひ致します。吉島君、田辺君、小川君、矢島(高)君、島田君、和泉君、馬場君、矢島(巖)君
 - ・旅行では前島委員長さんをはじめ親睦委員の皆さんには大変お世話になりました。矢島(巖)君
 - ・入会記念日お祝ひ有難うございます。吉田(健)君、奥富君
 - ・誕生日お祝ひ有難うございます。服部君、田中君、吉田(行)君
 - ・妻の誕生日お祝ひ有難うございます。土屋(崇)君、吉田(行)君、沢辺君
 - ・結婚記念日お祝ひ有難うございます。土屋(良)君、大崎君、藤原君、福島君、加藤君、町田君
 - ・高2砲丸娘、自己記録50cm更新して14m42。6月の日本選手権出場です。大野(康)君
- 本日計61,000円、累計額1,045,003円。
◎24日例会当番は平沼、半田会員です。

【卓 話】

講師紹介 森プログラム委員長
第44代飯能青年会議所理事長。趣味が星の観察。特技トロンボーン。高尚な趣味と特技をお持ちです。テーマは個人の個性を音に例えて一緒にハーモニーを創ろうという事だと思います。

共に奏でる

飯能青年会議所(飯能JC) 近藤隆彦様
新理事長

日頃から飯能JCの運動へのご理解ご支援、見守りに対して感謝御礼申し上げます。

中学の時に飯能に越して来ました。野球少年でしたが吹奏楽に移り、音楽の道を考えて事もありました。スローガン「共奏~輝く未来のために」は今年一年間と言わず、それぞれの個性を音に例えて、その個性と個性がまちの中うまく響き合っってハーモニーをつくり、明るく豊かな風が流れたら素敵だなと思っって掲げました。

35人でスタート。もっと多くの人間が1つの考え方を心をついにして発信していく方が、このまちに伝わっていくのではないかとも思うので淋しいところです。でも、いろいろな方に協力して頂きながら仮入会7名を迎え、少しずつでも拡げていっているところです。飯能JCに出会えた事が今の自分にとって大事な事ですので、拙い話ですが聞いて頂ければと思います。

私は双柳でハンコ屋をやっております。主な仕事は、デザイン、チラシ、印刷物、アクリルや木材のレーザー加工、ノベルティや記念品等の制作。それが楽しくて、趣味みたいな仕事にはなっているのですが、30歳で開業しました。

両親は静岡出身。祖父は富士市でニッサンの部品製造、祖母は富士宮市のやきそば屋。すごく美味しくて本当の日本一です。母の実家は電線解体業をやりながら学校の先生もやっていたので母も教師で、校長までやらせて頂きました。堅くてすごく恐いです。父は都内でサラリーマン。私は狭山市で中1まで過ごし、飯能は遠足で来るイメージでした。飯能河原で石をたくさん持ち帰って凶工で動物園を作りました。堀兼中野球部では仲間同士楽しくやっていたのですが、中1の夏に突然飯能に越す事に。入った野球部で初めて人間関係というものに悩む事になりま



した。練習の仕方が違うのです。足が速かったのですが、先輩を抜かして走ると先生からも怒られたり、「この学校おかしい」と思いながら、共働きの家に帰っても誰も居らず相談出来る人、友達が居ない。その状況で「飯能に引越してきて嫌だな」と思っっちゃったんですね。「人間関係、嫌だな」という気持ちをもったまま大学まで進んで就職。22、3で子どもが出来て、結婚。人と関わるのが嫌いなので起業して好きなようにやろうと。中古自動車屋で働く中でアドバイスを頂き、青梅の文化印刷で働く道を選びました。そこで勉強して30で独立。家から近い方がいいと飯能で開業。知り合いが全然居らず不安だったのですが、そこで出会ったのが飯能JCでした。入会していなかったらこの地域で生活していられるというのは無かったと思っています。

初め「まちづくり」については考えておらず、そこに居る人・仲間のために活動しました。メンバーには「人と人との関わりを大事に」と話しています。どんな目的でも一人で向かって行っても辛いだけ、厳しいだけという事が多いのではないかと。仲間と支え合っってやっていく事を経験したのもJCだったので、それを皆に知ってもらい、1つになってやっていきたい。OBの方と触れ合う機会も多いのですが、楽しそうに飲まれているのを見て羨ましく思っています。自分達も今のメンバーと共に歳をとっっていく中で先輩達みたいな関係が築けたらいいなと思っています。

35人でもお互いを知りません。1つの文章だけで会話が成り立つような時代、言葉を交わしてお互いを知ろうともしないで文字を送っただけのコミュニケーション。そういうところが見え隠れしてきている。面と向かい、あるいは電話で、ちゃんと話さないと分からない事は多いのに、お互いを知った上で協力しながらやっていくという状況が作れていない。飲みに行くだけでもっと話してお互いを知り、興味を持ち合うという事をした方がいいなと考えてやっています。

残り半年。ここまでは事業、まちづくりに向かってやってきましたが、ここからはお互いの事を知っって支え合うという事を大事にしていきたい。なかなか難しいが、人間関係に苦しんだ経験も一人で勝手に悩んでいただけなのかもしれない。今でこそこういう所でお話が何とか出来るようにはなりましたが、実際は人前で話をするなんて考えた事もなかったです。ですが、大事だなと思っる事にはどんどん突き進んでいく事が出来るんだという気持ちは生まれました。入会して9年目、自分がこれだけ変わったというところを一人でも多くの人に伝えていきたい。自分達が変わった中で、今度はお互いを知り合っって共に個性を尊重し合いながら、ハーモニーをつくっっていく事をやっていければと考えています。不安も多いですが、僕にしか出来ない事、私にしか感じ得ない事はたくさんあると思うので、自信をもっって伝えていきたい。

「出会い」を大事にしながら、いろいろな事を学び、先輩達から受け継いでいくものを、今度、自分達が次に伝えていくために何が出来るか。そこをしっかりと考えてやっていきたいと思っています。飯能JC、そして私自身に対して、どんどん「もっとこうしたい方がいい」と言って頂ければと思います。有難うございました。